

## 平成20年度

### 「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅲ」の出題の趣旨

#### 第1問（配点20点）

本文に記述されている様々な強みとしての経営資源を単に抽出するのではなく、次代の発展に向けての経営戦略に有効に生かすことのできる経営資源を選別する分析能力と、その強みを生かした経営戦略を具体的に示すことができるかについての分析能力を問う問題である。

#### 第2問（配点30点）

##### （設問1）

取引先からの大型金型の生産要請を、C社を取り巻く外部環境の変化、とりわけ厳しくなっている経営環境の中で、どのように位置づけ取り組むべきかについての経営環境把握能力と戦略的分析能力を問う問題である。

##### （設問2）

新たな事業に発展する可能性をもつ大型金型の生産要請に応えるために、C社が解決しなければならない生産面の課題を、どこまで提示できるかについての問題解決能力を問う問題である。

#### 第3問（配点25点）

C社が短納期化を実現するために外注企業と共有すべきデータを、C社と外注企業の現状の関係を踏まえて示すことができるか、また、それらのデータの共有化がもたらす生産面での効果を提示できるかについての分析能力を問う問題である。

#### 第4問（配点25点）

仕上げ工という技能工の育成において、ベテランを多く擁しているというC社の現状を踏まえた上での育成方法を具体的に提示できるかについての問題解決能力を問うとともに、その資源を経営戦略上どのように生かすかを問う問題である。

以上